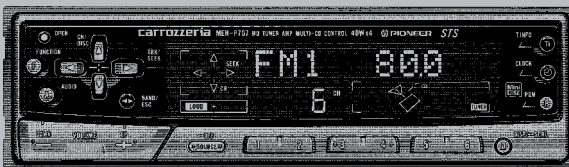


# MEH-P707

## 取付説明書



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

**パイオニア株式会社**

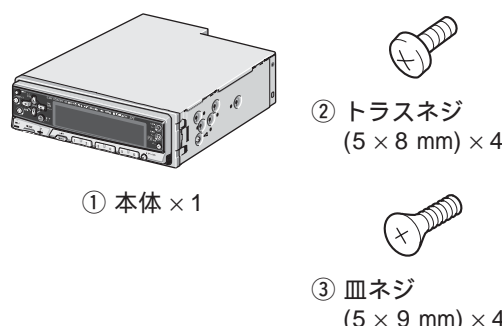
〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号  
© パイオニア株式会社 1998  
< 98B00F0A01 > < CRA2495-A >

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ  
接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

## 接続・取り付け部品を確認する

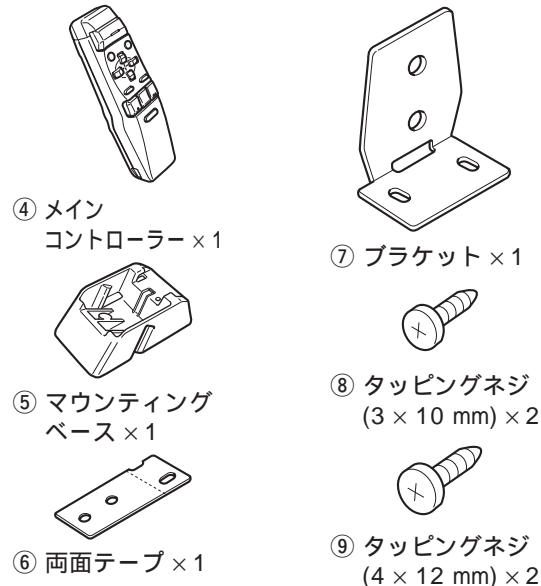
### 本体関係



### コード関係



### メインコントローラー関係



## システムの組み合わせについて

### システム一覧表

このシステム一覧表は、カーステレオの取り付け位置（コンソール）にDサイズで2台分の取り付けスペースのある車種が対象です。2台分の取り付けスペースがない車種や、3台分まで取り付けスペースがある車種のシステムについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

○	本機 (MEH-P707)
○	AVシステムTV (AVX-P505)
○	DSPカセット (KDS-P505)
○	ステアリングCDプレーヤー (CDS-P303)
○	マルチMDプレーヤー (MD-P100 II)
○	マルチCDプレーヤー (CDX-P630S/CDX-P1230S)
○	IP-BUS拡張アダプター (CD-P33)
○	ボイスコントロールディスプレイユニット (CD-VC50)
○	RCA/MP-BUSインターコネクター (CD-R820)
○	内蔵アンプ・リアースピーカー
○	内蔵アンプ・リアースピーカー
○	外部アンプ (GM-X7200)
○	外部アンプ (GM-X7200)
○	外部アンプ (GM-X7200)

○印：組み合わせで使用することができます。

△印：組み合わせで使用すると、外部機器（ビデオやDATなど）の音声を聞くことができます。

□印：組み合わせで使用すると、複数のマルチCDプレーヤーを接続することができます。接続できる台数については、IP-BUS拡張アダプターの説明書をご覧ください。（マルチCDプレーヤーが1台のときは必要ありません。）

\*1「CDX-P630S/CDX-P1230S」は、「CD-P33」との接続、および複数台接続はできません。

\*2 DSPと組み合わせただけ接続できます。（DSPのフロント出力端子に接続します。）

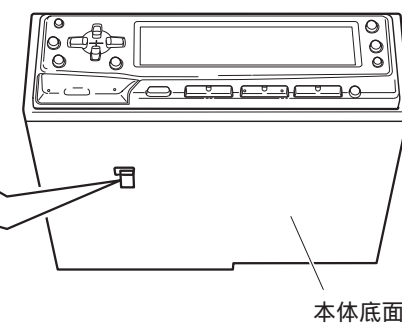
\*3 サブウーファー出力付きのDSPと外部アンプを組み合わせた場合や、「GM-X7200」など入力用ローパスフィルター付きの外部アンプと組み合わせただけ接続できます。

### MAIN INスイッチについて

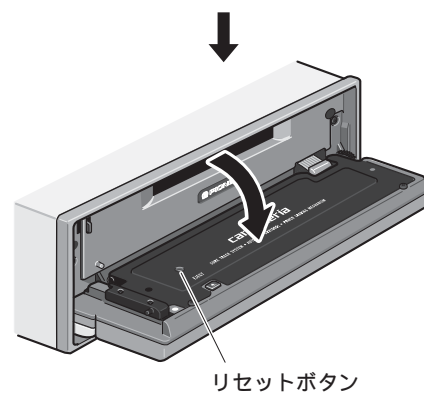
本機にDSPを組み合わせるときは、次のように、本機のMAIN INスイッチをONに切り換えてください。スイッチを切り換え間違えるとシステムが正常に機能しません。

### 1 ボールペンの先などでMAIN INスイッチを切り換える

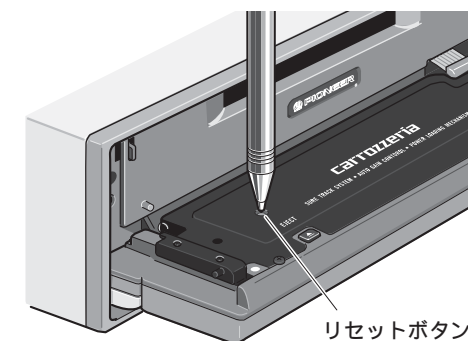
DSPを組み合わせるときは、MAIN INスイッチをON側に切り換えます。



### 2 OPENボタンを押して、フロントパネルを開ける



### 3 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタンを押したらフロントパネルを閉めてください。

## 接続の前に知ってほしいこと

### 接続上のご注意

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。

本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力40W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4から8のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの破損の原因となります。

ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青/白リード線（オートアンテナ）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

### 接続のポイント

#### IP-BUSの接続について

IP-BUS端子とIP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクターの接続部分が色分けされています。）

#### ノイズ防止のために

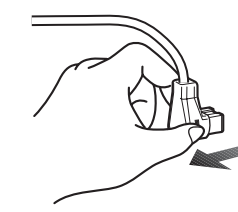
アンテナコードは、本体の小型ユニット、IP-BUSケーブル、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。本体のRCAコードに何も接続しない場合は、付属のキャップを外さないでください。

#### 電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

### コネクターの着脱のしかた

コネクタは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

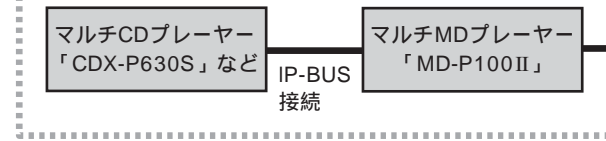


# 電源コードを接続する

-- 詳しくはご購入の販売店にお問い合わせください --

## 基本的なシステムの接続

**組み合わせ例1**  
システム一覧表を参照して、システムを組み合わせてください。(※ システムの組み合わせについて)



**オートアンテナ**  
オートアンテナのON/OFFをコントロールするために使用します。(ラジオ/テレビがONになるとコントロール信号が出力されます。)  
車側のオートアンテナのコントロール端子に接続してください。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)  
また、ガラスアンテナ車の場合は、アンテナプースターの電源端子に接続してください。それ以外は、何も接続しないでください。

**ミュート**  
パイオニア製の自動車電話やDVDカーコンピューターなどのオプション製品と組み合わせるときに、オプション製品からの信号によって本機の音量をコントロールするために使用します。(オプション製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に「0」になります。)  
組み合わせたオプション製品に黄/黒リード線(セルラーミュートまたはミュート)がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

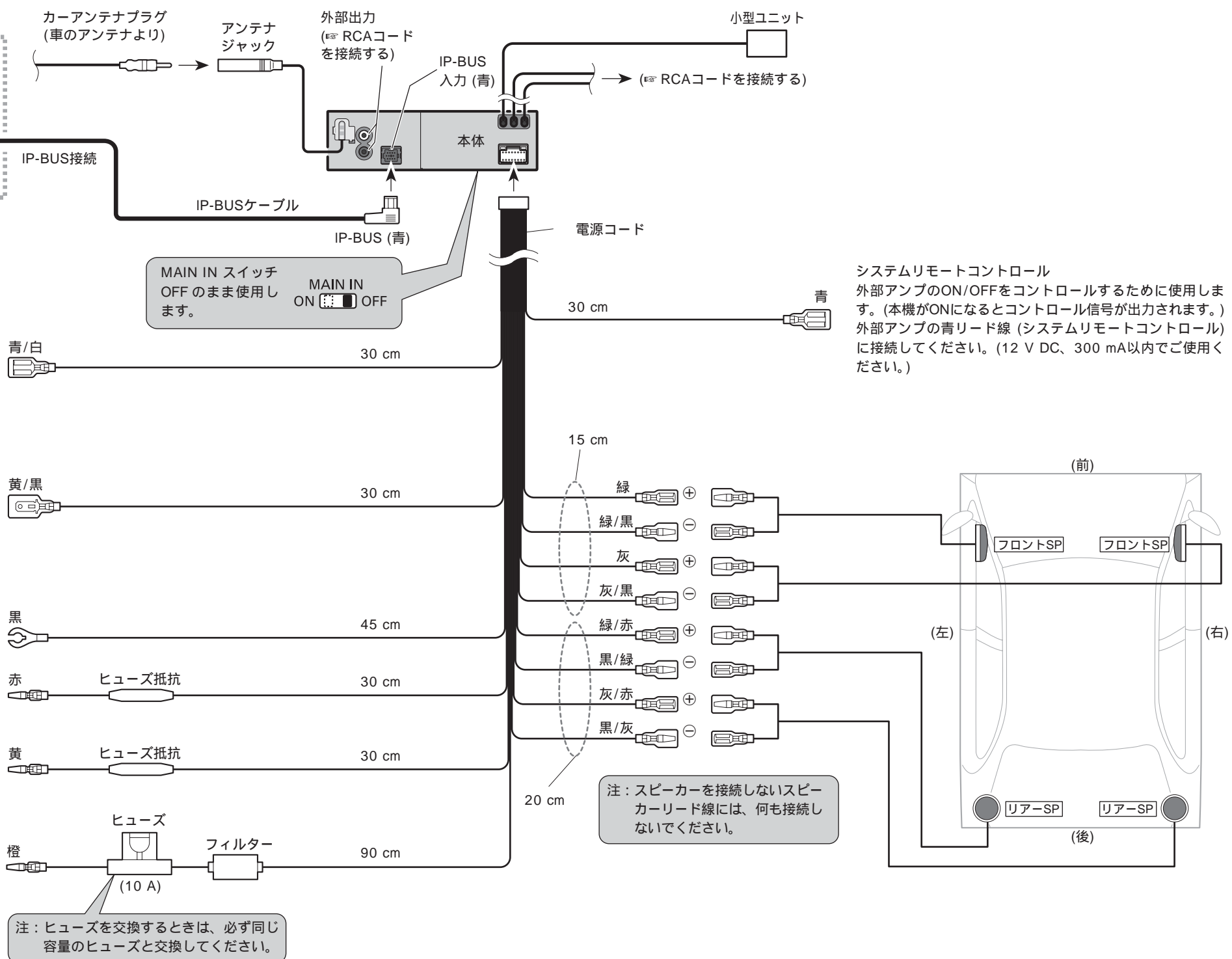
**アース**  
車のボディの金属部に確実に接続してください。

**アクセサリ電源**  
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

**イルミ電源**  
車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路(時計の照明回路やモールランプ回路など)に接続してください。

**+ バッテリー電源**  
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：赤、黄、橙リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。



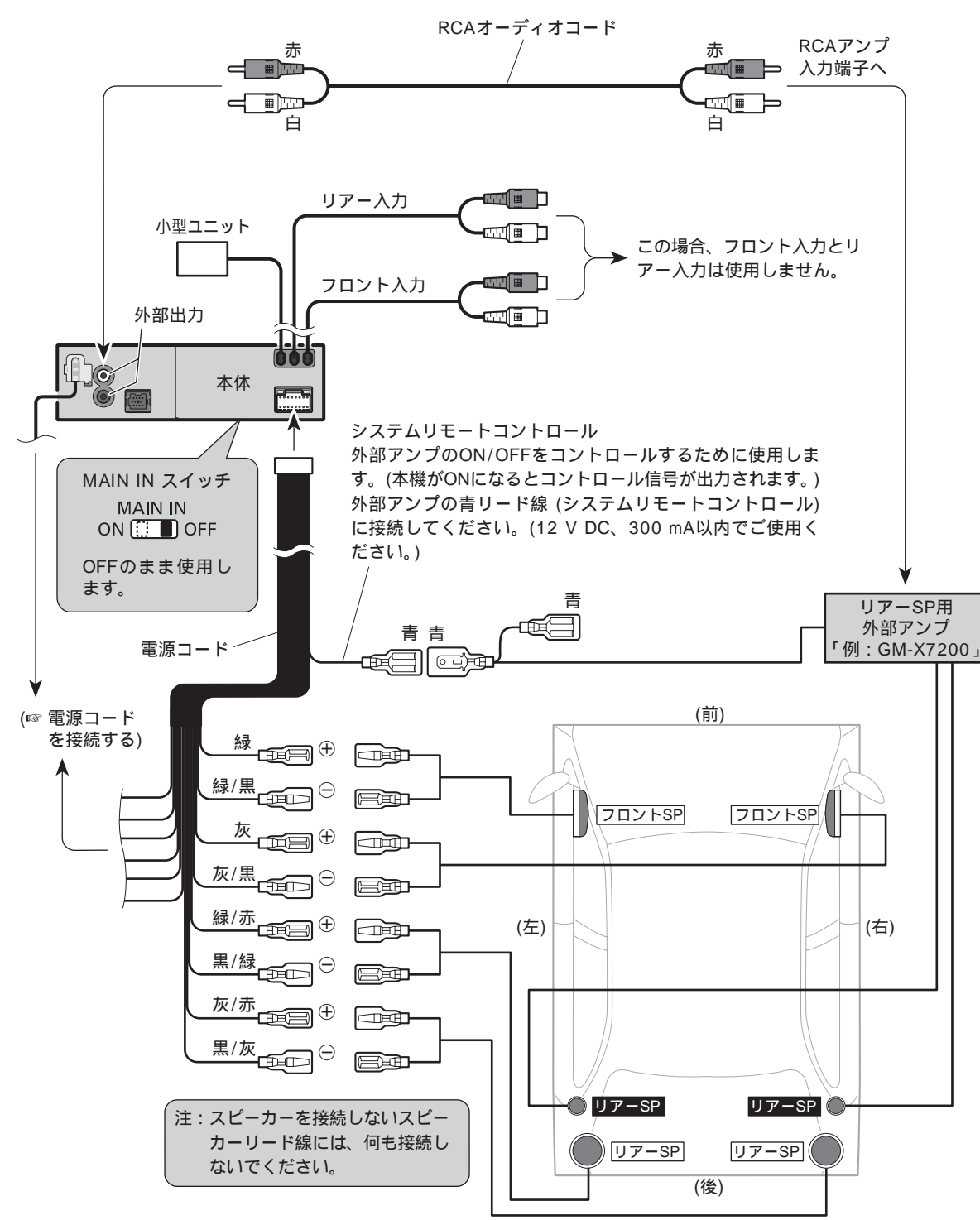
注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

**システムリモートコントロール**  
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)  
外部アンプの青リード線(システムリモートコントロール)に接続してください。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

# RCAコードを接続する

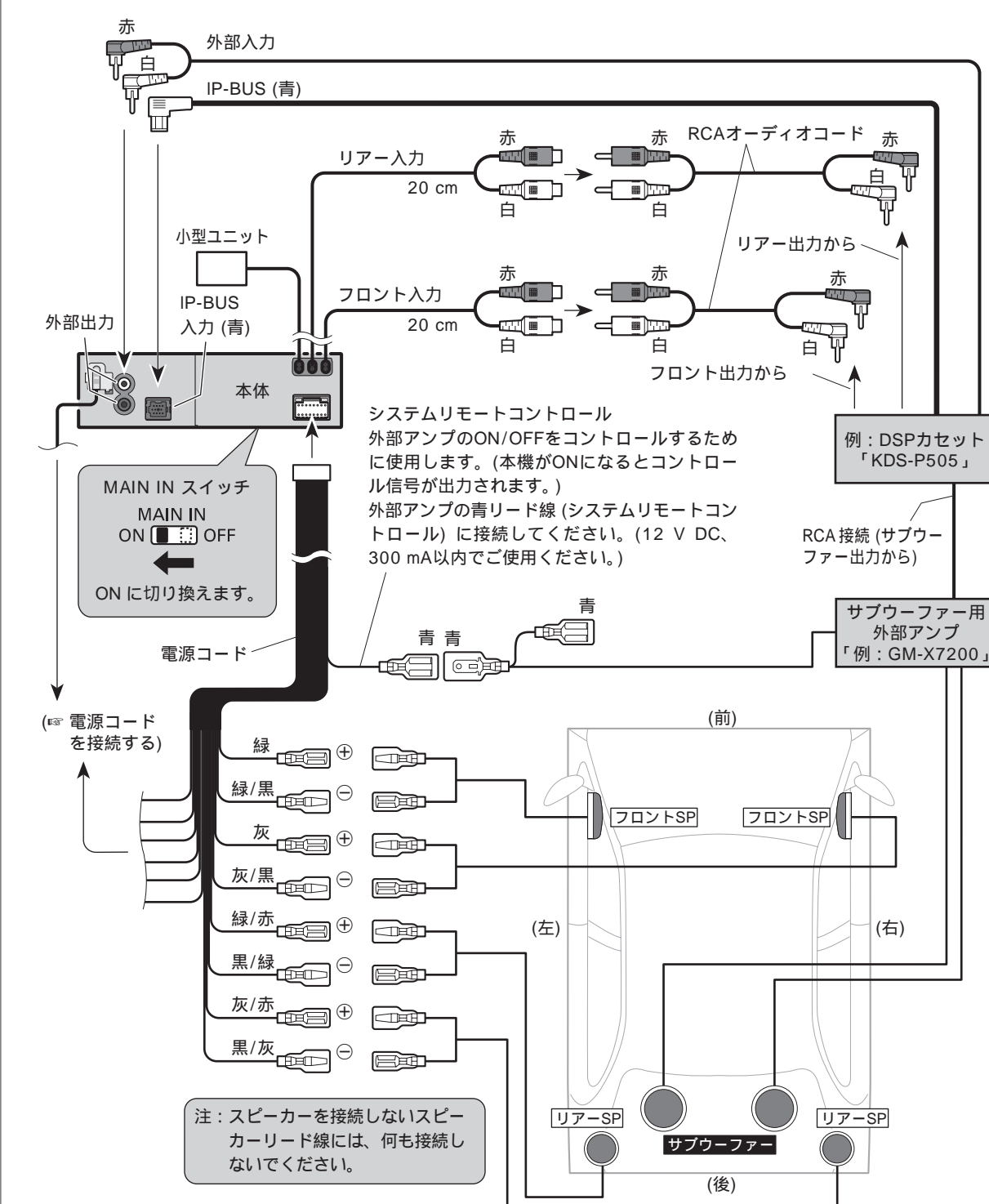
## 外部アンプを接続する場合



**システムリモートコントロール**  
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)  
外部アンプの青リード線(システムリモートコントロール)に接続してください。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

## DSPを接続する場合



**システムリモートコントロール**  
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)  
外部アンプの青リード線(システムリモートコントロール)に接続してください。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。



# 取り付けの前に知ってほしいこと

## 本体の取り付けのポイント

### 取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

### ノイズ防止のために

アンテナコードは、本体の小型ユニット、IP-BUSケーブル、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

### キズ防止のために

本体から出ている小型ユニットは、本体や車のコンソールをキズつけないように保護マットで包んであります。保護マットは取り外さないでください。

### 取付キットを別売しています

車種や年式によっては、別売のバイオニア取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意しておりますので、販売店にご相談ください。

ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ汎用汎取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

## メインコントローラーの取り付けのポイント

### 両面テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

### 取り付け角度について

マウンティングベースは、メインコントローラーをセットしたときに、メインコントローラーが水平または上向きになるように取り付けして下さい。

### 取付キットを別売しています

当社では、メインコントローラーを助手席のシートレールにアームで取り付けることができる、システムコミュニケーター マウンティングアーム「AD-R60」を別売していますので、販売店にご相談ください。

## 取り付け工具

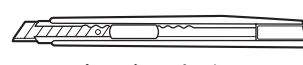
取り付けかたによって、使用する工具が異なります。取り付け作業を行う前に、取り付けに必要な工具を確認してください。



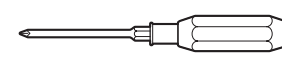
スパナ



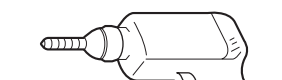
ラジオペンチ



カッターナイフ



プラスドライバー



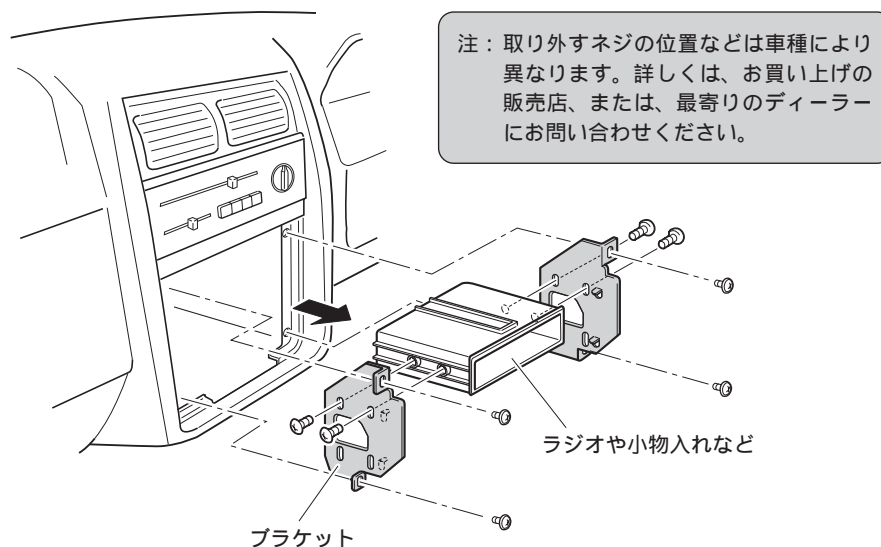
ドリル

# 本体を取り付ける

## 取り付け例 (トヨタ車、日産車への取り付け)

### 1 車側のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



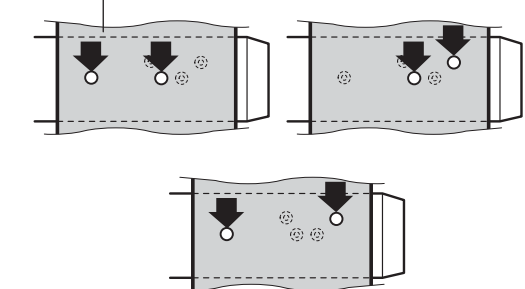
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

### 2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

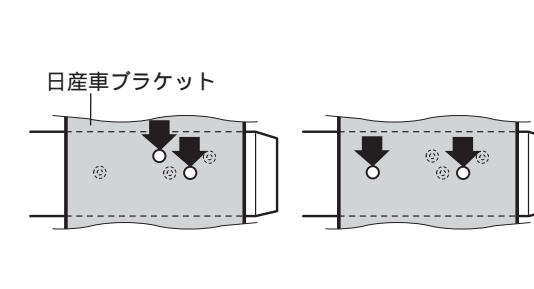
#### トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



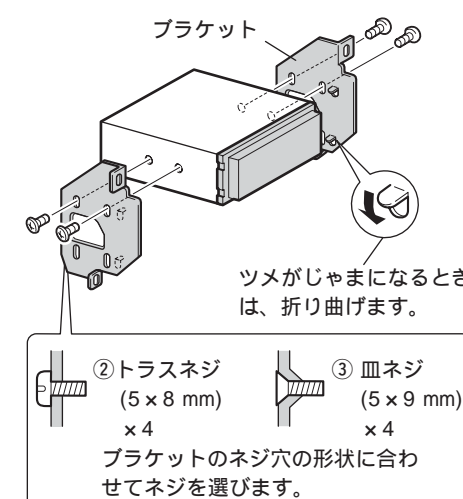
#### 日産車の場合

日産車ブラケット



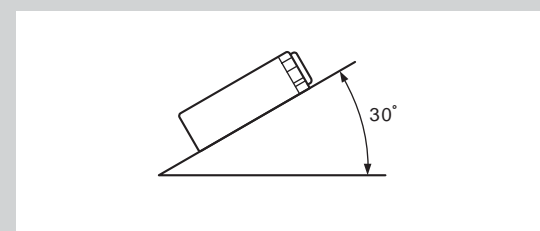
### 3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



## 取り付け上のご注意

本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。



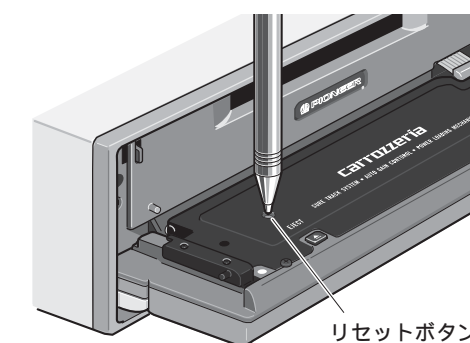
# 動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

### 1 接続・取り付けをもう一度確認する

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

### 3 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

リセットボタンを押したらフロントパネルを閉めてください。

### 2 OPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける

OPEN ボタン



リセットボタン

### 4 車のエンジンをかける



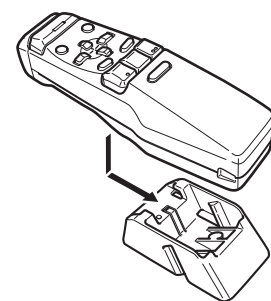
### 5 本機の動作を確認する

(※ 取扱説明書)

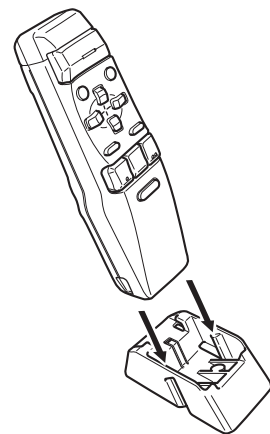
# メインコントローラーを取り付ける

## メインコントローラーのセットのしかた

“カチッ”と音がするまでメインコントローラーをマウンティングベースに押し込んでください。  
横置きにセットする場合



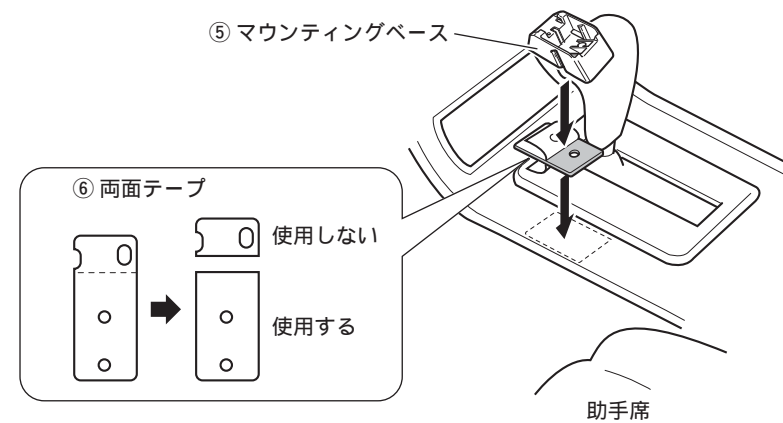
縦置きにセットする場合



## マウンティングベースだけで取り付ける場合

### マウンティングベースを取り付ける

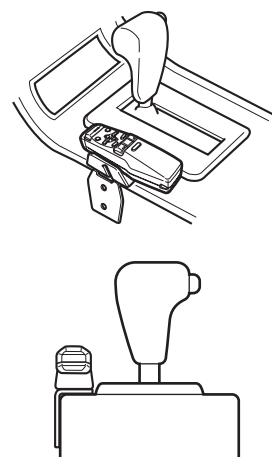
付属の両面テープを使用して、マウンティングベースを取り付け場所に貼り付けます。



## ブラケットで取り付ける場合

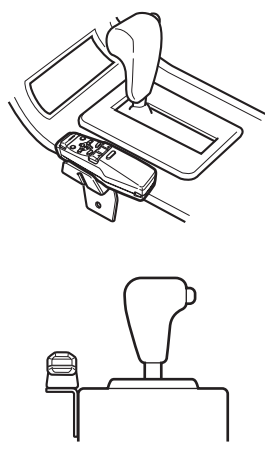
### 取付例1

センターコンソールの幅が広く、センターコンソール上にメインコントローラーの取付スペースがある場合の取り付けかたです。

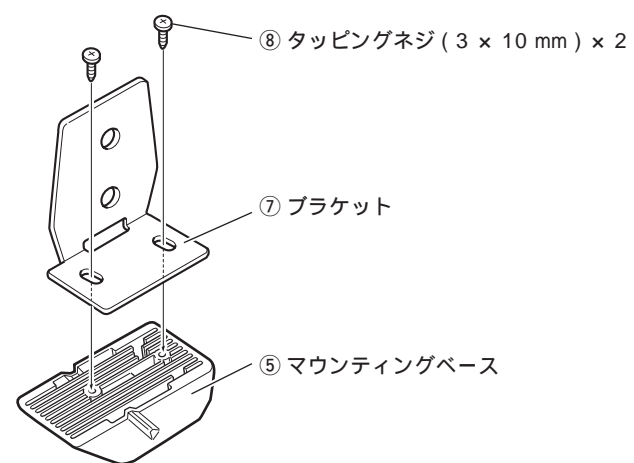


### 取付例2

センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にメインコントローラーの取付スペースがない場合の取り付けかたです。



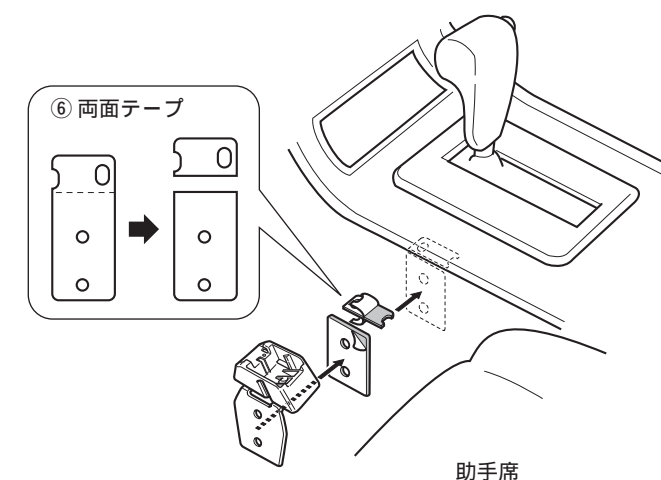
### 1 ブラケットをマウンティングベースに取り付ける



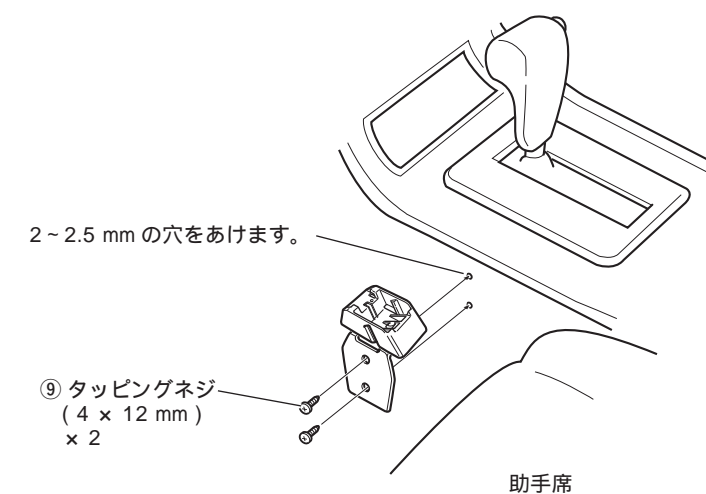
### 2 マウンティングベースを車両に取り付ける

両面テープまたはタッピングネジで取り付けます。

両面テープで取り付ける場合

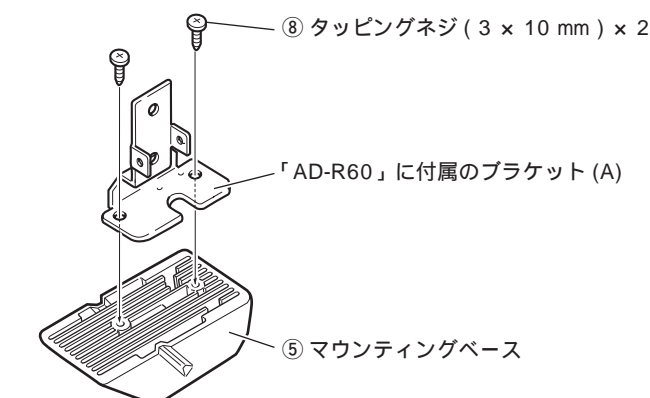


タッピングネジで取り付ける場合



## 別売のマウンティングアーム「AD-R60」を使用して取り付ける場合

### 1 「AD-R60」に付属のブラケット (A) をマウンティングベースに取り付ける



### 2 「AD-R60」を車に取り付ける

「AD-R60」の取付説明書を参照して、車に取り付けます。

